

ひかりのこ

5月園便り

認定こども園
聖ミエル幼稚園
2022年4月22日

月主題：心地よく

入園式が終わり、こすもす組の子どもたちの保育が始まりました。お母さんから離れて、まだまだ不安そうな子どもたち。先生たちは子どもたちの心をよく理解して、優しくゆっくり関わります。少しずつ少しずつ園にも慣れていくことでしょう。

また、今年度から0,1,2歳児が加わり、園の様子も変わってきました。14名の赤ちゃんたちは、最初の頃は「ママー」と泣いたり、お母さんが出ていったお外を指さして「あっちあっち」とお外に行きたがってたくさん泣きました。でも今では大泣きする子はほんの数名。みんな担任の先生を大好きになって、自分の楽しい遊びを見つけるようになってきました。ミカエルは開園したばかりなので、14名全員が初めての子どもたちで、先生たちはてんてこ舞いですが、それでも子どもたちの心を真に受け止めて朗らかに優しく保育を行っています。

古い園舎は解体が進んでいます。長年この地に根を下ろしていた園舎がなくなることは、本当に寂しいものです。私の通っていたミカエル幼稚園の園舎は、今解体される園舎の一つ前のものですが、今でも時々夢に古い園舎の窓から見えた風景、遊戯室でみんな輪になってお祈りをしたことなどを思い出します。きっと、今の年中長さんも、卒園生も、お隣の園舎で過ごした断片的な記憶を、大人になってから思い出すのではないかと思います。今まで本当にお疲れ様、と声をかけたいです。

さて、新園舎の「絵本の部屋」の整備がかなり進みました。おそらく5月中旬から絵本の貸し出しも始められそうです。今年も、新しい良い絵本を購入していきたいと考えています。どうぞお楽しみに。

園長 渡部 良子

キリスト教保育

「ロバの歩みの幼稚園」

幼稚園はゆっくりと時間が流れていきます。特に、この時期は入園して間もない、まだ集団生活に慣れていないお友達がいるので、行動はゆっくりです。私はこの雰囲気がとても好きで、世の中もこのスピードで流れてくれないかなと、つい考えてしまいます。

イエス様が最後にエルサレムに入城した時、さっそうと馬に乗って、かっこよく現れるかと期待した民衆を尻目に、イエス様はゆっくりと、こともあろうに不格好なロバに乗ってやってきました。正義のヒーローがロバに乗っている姿を想像してみてください。多くの人が失望したはずですが、でもイエス様は大切なことを伝えようとしています。現在、最速の新幹線は時速320キロで走っています。しかし、ある神学者は、神さまは時速5キロで動くと言いました。それは、悲しむ人、助けを必要としている人を見落とさないためだということです。まさにロバで移動する速さです。320キロで走っているのは、大切なものを見落とすしてしまうのは当然です。大人の世界では、早くしなければならぬことと、ゆっくりでいいことが混在しています。それをしっかり見極める目を持ちなさいと、子どもたちから教えられた気がします。

チャブレン 司祭 下澤 昌

